

埼玉医科大学医学部

令和 8 年度 一般選抜（後期） 小論文

出題の意図

医学部での学習には、授業を聞くことや教科書を読むこと等を通じて、自分自身で考え、意味を理解することが必須である。この際、文脈に沿って意味を理解する、抽象的な説明から具体的な事案を想像して考える、具体的な説明から抽象化する、図表を読み解くといった知的操作が重要となる。他方、適切な日本語で的確に書くことは、自分の考えを表現する能力だけではなく、正確に理解し、思考する能力とも密接に関連している。小論文では、このような能力を測ることを目的として出題している。

1

日本語（語彙、読解力、作文力）に関して基礎的な学力を測る。今、問われていることは何かを理解し、多くの情報の中から必要な事柄を把握し対応できるかどうかを問う。

2

日本語（語彙、読解力、作文力）に関して基礎的な学力を問う。全体の文脈から、著者の考えを読み取ることができるか、及び、それを踏まえて自分の意見を具体的な経験に基づいてわかりやすく述べられるかを問う。

3

論理的思考力を反映した英文読解力と理解した内容についての日本語及び英語表現力を測る。英文の日本語訳、日本語文の英語訳が適切にできるかどうかを問うほか、主題となる概念の説明を通じて段落レベルや文章全体レベルで内容を理解できているかどうかを問う。